

東京女子体育大学・短期大学附属図書館 平成29年度ベストリーダー

図書編

No.	書名	著書名	出版社
1	火花	又吉直樹著	文藝春秋
2	運動処方箋 運動負荷試験と運動プログラム	American College of Sports Medicine	南江堂
3	人見絹枝生誕 100年記念誌		日本女子体育大学
4	からだを動かすしくみ	中本哲 井澤鉄也	杏林書院
5	君の臓腑をたべたい	住野よる著	双葉社
6	近代日本女性体育史	女性体育史研究会編	日本体育社
7	スパイクの跡 ゴールに入る	人見絹枝著	大空社
8	正しい声かけ・伝え方で実力を伸ばす!	佐藤雅幸監修・著	メイツ出版
9	中学校3年間の英語が1冊でしっかりわかる本	濱崎潤之輔著	かんき出版
10	炎のスプリンター 人見絹枝自伝	織田幹雄 戸田純編著	山陽新聞社出版局

雑誌編

No.	書名	出版社
1	教員養成セミナー	時事通信社
2	教職課程	協同出版
3	体育科教育	大修館書店
4	サッカー・クリニック	ベースボール・マガジン社
5	体育の科学	杏林書院
6	楽しい体育の授業	明治図書
7	剣道時代	体育とスポーツ出版社
8	NON-NO	集英社
9	陸上競技研究	日本学生陸上競技連合
10	特別支援教育研究	日本文化科学社

職場体験活動

今年も隣の立川第三中学2年生2名が、6月27-28日職場体験活動で働いてくれました。図書館では平成25年(2013)から立川市に協力しています。その活動に対して今年、立川市教育委員会から感謝状が授与されました。



地下書庫整理で発見された貴重書



今年度、地下の未整理図書を整理しました。その中に貴重な文献が発見されましたので紹介します。

Praxis der Gymnastik in der Schule
Gartner Hedwig, A. W. Zickfeldt (1926)
森梯次郎元学長(昭和42-45)が戦前ドイツ留学時代に購入、寄贈したドイツ語の身体運動の図書



平成30年度開館カレンダー

2018年 11月							2018年 12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					
2019年 1月							2019年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28		
2019年 3月													
日	月	火	水	木	金	土							
					1	2							
3	4	5	6	7	8	9							
10	11	12	13	14	15	16							
17	18	19	20	21	22	23							
24	25	26	27	28	29	30							
31													

9:00~13:00	9:00~14:00
9:00~19:00	9:00~20:00
9:00~16:00	9:00~17:00
終日閉館	未定

編集・発行：東京女子体育大学・短期大学図書館運営委員会
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・短期大学附属図書館報
2018秋号 No.28

ギリシャ神話のトップアスリート
英雄アキレウスの弱点

物語として伝わるトロイ戦争は、トロイの王子パリスがギリシャ王妃である絶世の美女ヘレネを略奪したことがきっかけで始まります。十年に及ぶ戦いの中でギリシャ軍の武将として活躍したのがアキレウスでした。アキレウスは俊足の誉れ高く、勇猛果敢で百戦百勝、体のどこを攻撃されてもピクともしませんでした。ただ一か所を除いては…。

アキレウスは海の女神テティスと人間ペレウスの間に生まれました。母テティスは息子が神のように永遠の命を手にするを願って、体を浸すと不死の肉体を得られるというステイクスの河に息子を連れていきました。しかし、母は生まれたばかりの息子の足首を掴んだまま河の中に入れたため、足首だけが水に浸らずにアキレウスの唯一の弱点となりました。「アキレウス腱」という言葉の由来はここから来ています。

トロイの名将ヘクトルとの死闘にも勝利を取めたアキレウスでしたが、最後は武将としては格下のパリスが放った矢に足首を射抜かれて絶命します。また、アキレウスは友情に厚く、戦死した親友パトロクロスの魂を慰めるために競技会を催しました。これがオリンピック競技祭の起源であるといわれています。



ギリシャ・コルク島アヒリオン宮殿「アキレウス像」



『ボウリングの社会学』

みなさんはボウリングが好きですか？実は、日本人は世界で類を見ないほどボウリングが大好きな国民で、サッカーや野球よりも圧倒的に競技人口が多いのです。本書では、なぜこれほどまでに日本中にボウリングが広まったのかを解き明かそうとしました。

私が注目したのは、ボウリングの持つイメージです。みなさんにとって、ボウリングは〈スポーツ〉でしょうか？笑いながら楽しくプレーするので、〈レジャー〉や〈遊び〉に見えるかもしれません。そう、実はボウリングの人気は、そこにこそ大きなポイントが隠れています。つまり、ボウリングは、〈スポーツ〉なのか〈レジャー〉なのか曖昧で、むしろそうした曖昧さを活かすことで、様々な人々を惹きつけました。このことを本書では丹念に解き明かしました。

ボウリングが好きな人も、スポーツ社会学に興味がある人も、ぜひ一度手に取ってもらえると嬉しいです。

スポーツ社会学研究室 笹生 心太



◎『ボウリングの社会学』
笹生 心太 著/青弓社



◎『さわっておどろく!』
点字・点図がひらく世界
広瀬 浩二郎・嶺重 慎 著
/岩波ジュニア新書

『さわっておどろく!』 ：点字・点図がひらく世界』

2020年夏のパラリンピックにむけて、様々なとりくみが行われています。パラリンピックや障がい者スポーツの認知度は以前に比べ高まってきたとはいえ、競技の名称やルールは浸透しておらず、試合を見たことがない人も多いようです。

本学の場合は、一般の人々に比べれば、障がい者スポーツやパラリンピックの競技にふれる機会は多いことでしょう。しかし、障がい者スポーツを「ハンディーを埋めるために、ルールや用具を改良して行うスポーツ」という意識は、まだ、どこかに残っているかもしれません。

そんな心当たりのある人は、ぜひ、この本をめくってみてください。点字や点図に「さわって愕く（おどろく）」体験ができるはずです。ただ感覚レベルでびっくりする「驚き」ではなく、自分の先入観を打ち破られた経験としての「愕き」です。

この本を読み、あらためて障がい者スポーツを見直せば、新たな気づきが得られることでしょう。

社会福祉研究室 二宮 祐子



『高齢者終末医療 最良の選択』

本の題名を見ると、若い皆さんには「まだまだ関係ない!」と思われるかもしれません。

しかし、これから社会で生きていく皆さんが暮らす日本の現状をぜひ知ってほしいと思ってこの本を紹介します。日本の人口は、2004年には約1億2800万人と終戦後わずかに60年で2倍近くに増えました。それが今後はこの60年で増えたのと同じ勢いで減少し、2100年には明治後期と同じ4770万人まで減るだろうと予測されています。日本の人口減少はジェットコースター並の急降下で、しかも急降下した先にはまだ誰も経験したことのない世界が待っています。人口減少トップを走っている日本を世界中が注目しています。そこで大事なのが、体育大で勉強している皆さんの力です。超高齢化社会で健康寿命を延ばすこと、健康を保つには運動と栄養が不可欠です。整形外科の見地からも運動器の衰えは要注意です。「最後まで自分らしく生きるために」あなたたちの知識と行動力、そして元気がこれからの日本を支えます。

健康教育研究室 高柳 佐土美



◎『高齢者終末医療 最良の選択』高林 克巳 著/扶桑社



『女性が管理職になったら読む本 ～「キャリア」と「自分らしさ」を両立させる方法～』

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」いわゆる「女性活躍推進法」が平成27年8月に成立しました。日本の社会でもやっと、女性が活躍できるよう環境整備に取り組もうとする機運が高まってきています。

本書は、このような時代を生きる上での女性へのメッセージが込められています。

人間、性格は変えられないが、行動は変えられる。「自分らしく生きていく」ことは、現状に甘んじることなく、日々自分を訓練する、自分の価値観に基づく理想を追求することであると説いています。

また、心理学や経済学などの幅広い分野の最先端の研究結果などにに基づき、私たちの中にある「無意識バイアス」に気づき、それによって直面する様々な問題を取り上げ、女性が乗り越えなければならない課題とその背景を丁寧にひも解いてくれています。

リーダーとは、まわりの人たちを励まし、動機付け、行動を起こすエネルギーを与える人のことです。本学で、女子体育指導者を目指す学生の皆さんに是非読んでほしい一冊です。

生徒指導研究室 出張 吉訓



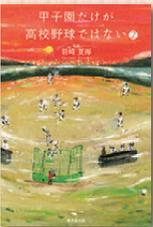
◎『女性が管理職になったら読む本～「キャリア」と「自分らしさ」を両立させる方法～』
ギンカ・トールゲル 著 小崎 亜依子、林 寿和 訳/構成/日本経済新聞出版社

『甲子園だけが 高校野球ではない〈2〉』

甲子園。それは高校野球誰もが憧れる夢の舞台である。しかし、輝いている舞台だからこそ、その裏には苦しみ・悲しみも沢山ある。この本は、高校野球の挫折と再生の物語であり、高校野球を通じて野球以外のことを学び、「野球だけが人生ではない」という事を、野球を通じて学び取っていくという物語です。

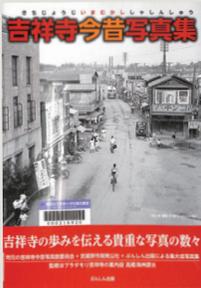
ライバル同士の目に見えない深い絆や、天国で見守りながら時には力を貸してくれる父の存在、一生懸命プレーする球児達に感動や勇気をもらう観客・子供たち。さまざまな球児達のエピソードは目に見えない部分の大切さだったり、自分と違った考え方や生き方などが描かれており、とても考えさせられる部分が多くあります。自らの新しい発見や、これから生きていく上でのヒントにもなる物語だと思います。とても読みやすい本なので、ぜひ手に取って読んでみてください。

体育学部2年 大城 晴菜



◎『甲子園だけが高校野球ではない〈2〉』岩崎 夏海 監修/廣済堂出版

『吉祥寺今昔写真集』の紹介



『吉祥寺今昔写真集』
2018年ぶんしん出版



本学は国立市に昭和36年に移転する前は、大正10年から吉祥寺にありました。その時代の写真集をつくるために今年の春先から本学に取材があり、この夏に完成しました。その当時の貴重な吉祥寺の風景がよくわかります。図書館にも所蔵していますので、ぜひ手に取って見てください。

